
ニュースレター・JASESS No.91

社会・経済システム学会 2014年4月

新年度が始まり会員諸氏におかれましては、研究・教育に励まれておられることと存じます。今年度大会のご案内を中心に、ニュースレター・JASESS No. 91 をお届けいたします。

■社会・経済システム学会第33回大会のご案内

第33回大会は、京都大学で開催することになりました

大会テーマ：「社会・経済システムとデザイン」

開催日：2014年10月25日(土)・26日(日)

場所：京都大学（京都市左京区）

大会実行委員長：喜多一

連絡先：〒606-8501 京都市左京区吉田二本松町 京都大学学術情報メディアセンター

喜多一研究室 社会・経済システム学会大会実行委員会

E-mail: kita@media.kyoto-u.ac.jp

【大会テーマ趣旨説明文】

科学技術の進展に伴い人類の活動が拡大する一方で、地球規模の環境変動、経済格差や失業の拡大、高齢化や少子化、金融システムの不安定化などの社会・経済システムはさまざまな課題に直面しており、国民国家などを含めてその再設計が必要となっている。社会科学の領域では古くから組織や社会を人工物として捉える考え方がある。そこでは我々の生活世界がどのように構成的にできあがっているかを問い、組織や社会の情報処理やコミュニケーションプロセスに着目し、その視点からどのように組織や社会を人工物としてデザインしていくかという問いかけがなされてきた。

他方で、これまでインダストリアルデザイン、グラフィックデザインなど商業的な領域での活動が主流であったデザインの領域も、組織やコミュニティ、社会的活動などがデザインの対象となっており、ユニバーサルデザインやインクルーシブデザイン、オープンデザインなどデザインについての考え方も変容してきている。さらにはこれらの流れを受けて、世界各地で、デザインスクールなどの教育プログラムが展開されてきており、そこでは途上国などのフィールドでの問題解決も指向されている。

このような状況にあって、社会・経済システムという領域とデザインという領域が交差することでこれからの社会や経済について考えて行くことが期待されている。本学会は過去数年間に、「社会・経済システムのリラクチャリング」、「復興と再生」、「イノベーションと社会・経済システム」、「グローバルイノベーションにおける社会・経済システムの構想」、「持続可能な社会・経済システムと地域総合デザ

イン」を大会テーマとして取り上げ、活発な議論を積み上げてきた。それらを踏まえ、デザインという考え方や諸活動と社会・経済システムとの関係を深めることは本学会の今後の活動の展開において重要な鍵となると考える。

本大会では、企業システム、行政、地域、NPO を含む社会・経済システムについて、多様な観点からの理論的、実践的な研究発表と盛んな議論が行われることを期待する。

1. 報告をご希望の方は、所属機関・氏名・報告論題・報告要旨（400字～600字程度）を **2014年5月31日必着**で新事務局（首都大学東京：事務局長 高尾義明）まで必ずメールにてお送りください。

送り先：office@jasess.jp

ご報告の採否は2014年7月頃にご通知できると思います。

2. ご報告頂くことになった際には、**2014年9月15日（必着）**でA4版×**2枚ないし4枚（偶数枚のみ）**の報告要旨原稿をお願いすることになりますので、あらかじめご了承ください。

■会費納入のお願い

今年度も会費ご納入のほど、よろしくお願い申し上げます。

■変更届提出のお願い

ご住所、ご所属、その他、会員情報にご変更がございましたら学会事務局（首都大学東京 高尾義明研究室内、E-mail：office@jasess.jp）までお知らせください。

また、変更・入会・退会に関する手続きについては、学会ホームページの <http://jasess.jp/info/admission.html> からご覧になれます。

※ニューズレター等配布物の返送が相次いでおります。送付先変更がございましたら速やかに上記事務局宛メールアドレスまでお知らせくださいますようお願いいたします。